

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	UGNチルドレン
	エグザイル			年齢		16
オプション	覚醒	忘却	衝動	破壊	初期侵食率	40 %
出自	権力者の血統		経験	平凡への反発	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	88
肉体	5	1	0			6	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	6r+2	3	9		ガードされた場合、相手のガードを-5 (以下同じ)
スタンブレード (80↑)	白兵	8r+2		9		ダメージで放心、C値8
復讐の刃 (100↑)	白兵	9r+2		9		ダメージで放心、C値7、減少HPを攻撃に加算

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ダーマルプレート					
情報収集チーム					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費	
Dロイス/復讐者	P	N			
タイタス/ファルスハーツ	P	遺志	N	憎悪	
教育者	P	憧憬	N	劣等感	
ワンダーテインメント博士	P	憧憬	N	敵愾心	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
Cブラックドッグ	2							
効果:								
異形の刻印	9		常時					
効果: 侵蝕+3、hp+45								
命のカーテン	1	4	オート					
効果: 崩れずの群れを10mに、シナリオlv回								
崩れずの群れ	1	2	オート	至近				
効果: メイン1回、行動を使用せずカパーリング								
スタンボルト	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: ダメージで放心(ダイス-2)を与える								
ハードワイヤード	3		常時					
効果: 侵蝕+4、アイテムを得る								
眠れる遺伝子	1							
効果:								
至上の毛並み	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一族郎等をファルスハーツに殺された、元権力者の一人息子。彼だけが皆の助けで逃がされ、一人UGNに保護された少年。復讐のためにファルスハーツと戦い続けている。

精神年齢が幼い。事件に巻き込まれた13歳のころで思考が停止し、ほとんど成長してはいないためである。他人に甘えたり、気の許せそうな人には子羊のような謎の生物の姿となり、じゃれつく。感情はストレートに口に出すタイプで、特に好意はガンガンぶつけていく。身体の成長も鈍っており、身長もかなり低く、小学生に間違われることもある。
一方、こと戦いとなるとその容姿さえも武器にする。子どもだと油断させておいて、背後からその身にしまわれた刃で切り裂くのは常套手段。しかし、その真価は機械化され、レネゲイドウィルスにより強化されたことによる異常なまでの耐久力である。並大抵の攻撃では屈せず、仲間を守り続ける。その上、膝をつかせれば、それはすなわち相手にとっての死の宣告となる。怨恨を乗せた一撃で、一刀の元に相手を切り伏せるのである。普段のかわいらしい性格と容姿に似合わぬその口吻と気迫からついたコードネームが「夢喰い」である。

彼はUGNの元でオーヴァードとなり、全身に機械を埋め込んだ。それは決して屈せず、仲間を守るための力を手にするためだった。けれど、彼は同時に復讐を何よりも望んでいる。仲間と復讐、二つの選択肢が転がったとき、彼はどちらを選ぶのだろうか？

「おはよーございます、先輩！」
「もっふっ！ もふもふ！」
「僕はみんなのことが大好きです！ 絶対、僕が守りますからね！」

「たとえ僕以外の全てが許しても、僕は許しはしない」
「(死体を踏み潰しながら)壊れた程度で、終わると思うな」
「お前らを滅ぼすまで、僕は死なない」